

令和6年度第1回長井市振興審議会 議事録

開催日時：令和6年7月2日（火） 13時30分～15時00分

開催場所：長井市役所 庁議室

出席者：34名（委員15名、事務局19名）

■振興審議会委員 佐藤剛委員、加藤眞佐夫委員、齋藤裕之委員、蒲生直樹委員、大泉紀也委員、上村正巳委員、青木與惣右エ門委員、下平裕之委員、井上榮子委員、梅村律子委員、小林美和子委員、伊藤浩呉委員、土屋智代委員、情野明美委員、鈴木裕美子委員（出席15名、欠席3名）

■事務局 内谷重治市長、齋藤環樹副市長、土屋正人教育長、竹田利弘政策推進参与、青木邦博技術参与、高石潤一危機管理参与、新野弘明総務参事、梅津義徳厚生参事、赤間茂樹産業参事、佐藤久建設参事、竹田洋教育次長、三瓶仁之総務課長、鈴木和夫財政課長
総合政策課 渡邊恵子課長、佐々木真一総合戦略室長、長谷部貴子主査、高橋直也主事、鈴木駿太郎主事、鈴木沙耶加主事

傍聴者：無し

【次第】

- 1 開 会
- 2 長井市振興審議会委員の任命
- 3 会長選出
- 4 あいさつ
- 5 報 告
 - （1）長井市振興審議会について（資料1）
 - （2）第五次総合計画の総括について（資料2、参考資料1・2）
- 6 協 議
 - （1）第六次総合計画表紙等レイアウトについて（資料3、参考資料3）
 - （2）行政評価について（資料4）
- 7 その他
- 8 閉 会

【議事録】

- 1 開 会
- 2 長井市振興審議会委員の任命

市長から新任委員10名へ委嘱状を交付した。※欠席の鷺見委員には後日交付

3 会長選出

委員より、下平委員を推薦するとの発言があった。全委員に諮ったところ、拍手をもって承認されたため、下平委員を会長に選出することとなった。また、会長職務代理者は会長の指名により、加藤委員が選任された。

4 あいさつ

○内谷重治 市長

ご多忙の中、令和6年度第1回の長井市振興審議会にご出席いただき、感謝申し上げます。

また、任期の関係などで新たに振興審議会委員として、ご委嘱申し上げたところ快くお引き受けいただいた。そして下平先生には会長にご就任いただき、また、加藤委員には会長職務代理にご接収いただき、感謝申し上げます。

今年は間もなくパリオリンピックがあり、1年 366 日あるうち、今日 7 月 2 日がちょうど折り返し、後半戦に入る。この 4 月にスタートした、「みんなが幸せに暮らせる長井〜ずっと笑顔あふれるまち〜」というフレーズでの第六次総合計画の推進に向けて、皆様から忌憚のないご指導、ご意見をいただきたい。

10 年前の日本創成会議で、全国約 1800 の自治体のうち約半数が、今後 50 年の間に消滅する可能性があるという衝撃的な報道があった。今年のゴールデンウィーク明けごろに、日本人口戦略会議で、新たに消滅可能性都市というものが発表された。日本の人口は、今 1 億 2500 万人いると言われていたが、2100 年には 6500 万人ぐらいになってしまう可能性が高い。これを 1 億人の人口を維持するようにということで、いろいろな提言をいただいている。山形県の中では残念ながら長井市は新たに消滅可能性都市に入ってしまった。一方で、10 年前は消滅可能性都市になっていた天童市や南陽市が今回は解消された。6 月定例市議会の中でもお答え申し上げたが、1995 年前後から 2005 年までの十年間で、本市にあったことという、約 500 名働いていた協同薬品工業株式会社が、50 名くらいを除いて隣の町に移ってしまったこと。それから、2003 年頃、マルコン電子グループで、正規雇用が約 1,000 人失われたことだ。また同時期に、1,100 人ほどいたハイマン電子グループの正規雇用が約 900 人失われた。さらに、同時期の 2000 年頃、山形県下でも自治体病院としては大きく充実していた長井市立総合病院が、平成に入ってから累積赤字を作ってしまう、これを解消するため、置賜の地方自治体で、県と一緒に新たな病院組合というものを作った。長井市立総合病院は約 500 床あり、医師・看護師等々含めて約 1,100 人いた雇用が、100 人ぐらを残して隣の町に移った。これが 20 年から 30 年前の出来事であり、そのあとの 2014 年に長井市が消滅可能性都市にならなかったのか非常に不思議だった。この約 10 年間、地方創生あるいはデジタル田園都市国家構想交付金を活用して、行財政改革などによっても、本当に一所懸命に長井市を挽回させようと頑張ってきた。結果として 2015 年には、人口減少率が 5～6 %で置賜 3 市 5 町の中で 3、4 番目に高かったが、2020 年の国勢調査では、4 %台ということで一番低い自治体だったにも関わらず消滅可能性都市に入ってしまった。人口減少は、10 年 20 年ではなく、30 年 50 年のスパンで考えなくてはいけないということで、第六次総合計画を柱に、市民の皆様と力を合わせて、長井がとても魅力のある、若い人たちにとっても、実際にここに住んでいる市民の皆様にとっても安心して、そして人にやさしく寛容性のあるまちを目指していこうと決意を新たにしているところ。私どもにとって、この振興審議会の皆様からのご意見、ご助言などをもとに行政運営を行っていくことが大変重要。皆様には、長井市の中では最上位のこの振興審議会で、引き続きお力添え、ご理解ご協力賜りますようお願い申し上げます。長々と恐縮だが、私から日頃の御礼と、これからの振興審議会をどうぞ皆様の力で、より充実した私どもに対するご意見をいただきますよう、重ねてお願い申し上げ、挨拶とさせていただきます。

○下平裕之 会長

これまでのものが形になり、第六次総合計画が実行される段階になった。市長からもあったが、やはり人口減少が厳しいという中で、この第六次総合計画の期間、消滅可能性都市の脱却というのが大きなポイントになる。消滅可能性都市というのは、理論的計算で、その通り進むというのではなく、努力次第で変えることができる。特にあの計算は、子供を産む時期の女性の数が関係するが、あくまで機械的に計算するもの。そのため、そのような部分にも惑わされず、市民全体から住みやすいまちをつくるのがまずは基本だと思う。それを目指して今回、これからの長井市について考えていただければと思う。また今日は、こちらの資料にある通り、まず第五次総合計画の総括について話していただく。それを踏まえてぜひよろしくお願いしたい。

※公務のため内容市長は挨拶後退席

5 報 告 [座長＝下平会長]

(1) 長井市振興審議会について(資料1)

事務局より、資料1に沿って長井市振興審議会の概要を説明。

(2) 第五次総合計画の総括について(資料2、参考資料1・2)

事務局より、資料2に沿って説明。

(会長)

達成状況のうち、いくつか×のところがあるが何が要因と考えられるか。

(事務局)

成果指標の達成ができなかったところの主な要因としては、表の一番右側に成果指標の分析というところにも書いてあるが、新型コロナウイルス感染症の影響で様々な事業が自粛した影響により、集客ができなかったことなどがある。その他のところについては、ほとんど達成ということで○印がついている。コロナも5類に分類されたということで、今後は通常のイベント等の開催もできるかと思う。そのためこの辺りは改善に向かっていけるのではないかと考えている。

(会長)

人が集まるものは、そういうところの影響がある。観光などは特にコロナによる影響が大きいと分析されている。

(委員)

5ページ 4-⑤雇用対策の所で、ハローワーク長井管内就職率(正社員)が×になっている。目標45%に対して、就職率は29%となっているが、参考資料1総括冊子の64ページに書いてある管内の就職率はハローワークの紹介によるとは考え難いが、このあたりはどのように捉えればよいか。その詳細について教えていただきたい。

(事務局)

この指標について、あくまでハローワーク長井における求人に対する就職者という捉え方となっている。その中には高校を卒業して就職された方の人数も含まれており、詳細のデータではなくハローワーク管内におけるあくまでも正社員の就職率という意味で、数値を取らせていただいている。

(委員)

就職率は正社員の数字であり、成果指標の分析にもあるように求人自体は減っていないという一方で、正社員としての就職ではない正社員以外の雇用は含まないということによりよろしいか。

(事務局)

目標の設定があくまでも正社員の就職率ということでお伺いさせていただいたもの。これは令和元年からの指標としているが、現状の期間内に人手不足がより深刻になり、人材よりも頭数が足りないという状況がどこの産業分野でも起こっている。その結果、正社員の就職率は下がったが、ハローワークを通さずに人手を確保する対策として、この5年間にいわゆる外国人の実習生制度があった。結果的にハローワークの数値は下がったが、現状、様々な手だてを行いながら人手を確保している。また、もう一つの要因としては、企業の中で、DXが盛んに進んだのもこの5年間だと認識している。人手をかけず、オートメーション化して人手不足を解消することが製造業で進んできたということもあって、この数値に収まったと考えている。

(委員)

ハローワークを通さないで様々な形で雇用を確保されている。あとはDX、そのような要素が加味されて、結果的にハローワークを通した正社員数は減っている。そういった解釈でよいか。

(事務局)

はい。

6 協 議

(1) 第六次総合計画表紙等レイアウトについて（資料3、参考資料3）

資料3に沿って、事務局から説明。

（委員）

この表紙は、必ずしも写真でなければいけないのか。先ほど、子供たちとか市民の皆さんの笑顔は、個人が特定されるからよくないとおっしゃいましたが、例えばイラストだったら別に問題はないのではないかな。

あと裏表紙ですが、長井市の特徴としてけん玉の写真があるのはよいのですが、画像の選び方、ほかの写真と比べて余りにも何か違和感ないか。同じけん玉を選ぶにしても、何か違う写真の方がいいと思う。

（事務局）

表紙については必ずしも写真でなくても、子供たちの笑顔などをイラストでという選択肢もある。ただ、先ほどご説明申し上げたとおり、以前の振興審議会で、皆さまからくるんとかがよいのではないかというご意見を踏まえ、昨年度できたばかりのくるんととその周辺で水遊びをする子供たち、それを笑顔で見守っている親御さんの姿が入っているような写真で、これが長井市の10年後未来の理想とするイメージに繋がっていくような風景ということで、この写真をぜひ使いたいと思って選んでいる。

委員の皆さんの色々なご意見をお聞きしてとは思いますが、ぜひこの写真を使いたいと思ってご提案させていただいたということで、ご理解いただければと思う。

（委員）

非常にこの写真の意味するところは納得しましたけれど、子供が遊んでいるところと親御さんが見守っているところが小さいのではないかな。これをイラストで描くということはどうかな。くるんとを設けたいのであれば、くるんとを描いて、もっと手前にアップでお子さんの笑っている顔とそれを見守っている親御さんのイラストを入れることもできると思う。

（事務局）

技術的には可能。

（委員）

全部イラストでということ。写真にはめ込むということではなく、くるんとをイラストで描いて、そこにもう少し大きく子供達の笑顔と親御さんの見守っているところも全体で書くようなこともできるのではないかな。

（委員）

今の意見に付け加えて、孫と一緒にくるんとをよく利用するが、暑い日はもっと人がいる。これでは寂しい。角度も青空がありとてもいいと思うが、日曜日の暑い日に人がいっぱいいて、もっと噴水が上がっているような写真はないかな。もしそういうストックがあれば、もっと人がいっぱいいて「長井はこんなに子供がいるんだよ」という雰囲気を出して欲しいなと思う。余りにも子どもが少ない。

裏表紙のけん玉のことで、背景がここだけ違う。違和感があるのは、背景が綺麗に見えないからではないかと思った。人がやっているなら、もうちょっと人をこの写真に出してもいいと思いますし、けん玉の動きがもう少しわかるのであったらより良いかなと思う。

長井ダムもいいが、観光資源として力を入れている三淵溪谷の方が個人的には好きです。

（事務局）

今いただいた三淵溪谷につきましては、参考資料の本文26ページに三淵溪谷の写真を入れてい

た。それとかぶらないものということで、裏表紙には長井ダムの写真を載せた。ただこの辺りの写真については差し替えも可能ですので、検討させていただく。製本のスケジュールの関係もあり、どこまで皆さんのご要望に対応ができるかは何とも申し上げられないが、できるだけ対応する。今手持ちのくるんとの写真では、これが一番良いものだったということで載せさせていただいたが、例えばこれから写真を撮って、差し替えることが可能であれば、そういったことも検討していきたい。裏表紙の写真については、差し替えは比較的容易にできる。そちらの方は様々なご意見をいただいて考えていきたいと思う。

(会長)

ご意見いただいた上で考え、ぜひ皆様、すべて採用されるかわかりませんが、よろしくお願いします。

(委員)

資料ですけれども、これより大きくなるのか。

(事務局)

多少大きくなる予定。

(委員)

このSDGsのゴールのラベルが読めない。今回の計画のすごく良いところは、全部SDGsに紐づけがされており、この政策の一つひとつが持続可能な社会づくりに繋がっていくという、すごく統一感があっていいと思っている。残念ながら、SDGsのゴールのラベルに何かが書いてあるか読めない。色はわかるが、字が読めないという意味がないと感じている。たくさんのラベルが載っており、写真とのバランスも気になるところだが、もう少し見えるようにできないか検討をお願いします。

(事務局)

確かに今のままでは字が読みにくい。こちらの大きさについても調整するように検討する。

(委員)

裏表紙の写真ですけれども、全部載せることは必要なのか。

(事務局)

こちらに掲載する写真も、何枚、どの程度が一番効果的なのかというところは検討できる。必ずしも全部載せる必要はない。

(委員)

私としてはもう少し少なくてもいいと思う。第五次総合計画は写真が一つですっきりしているのですが、こちらはこれも、これも、これも、これもという感じなので2つぐらいでいいのではないかと思う。

(会長)

それについては再調整ということで。デッドラインはいつか。ここで確定させるのか。修正を持ち込める、最終的な期限はいつまでなのか。

(事務局)

こちらのスケジュールを確認してそれに合わせて、議事録などもお送りする予定でございますので、その中でお示しして、皆さんのご意見を基に決める。ただあまり、色々な意見が出てしまうとまとまらなくなるため、ご意見をお聞きし、もしそれに対して、どうしても違ったほうがいいのかというようなご意見があれば伺います。伺った上であとは事務局にお任せいただくということで皆様にご了承いただければ大変ありがたい。最終版については皆さんにもちろんご了承いただく形にさ

せていただく。そのような方向でよろしくをお願いします。

(委員)

写真はこれでいいのですけれども、ページの中に文字ばかり並べている。市民の要望で健康だとかスポーツとかあるが、まちづくりだけでも学習プラザだとか、長井病院などがあり、そういったものも必要ではないか。観光のページは観光一色で、市民のためにこういう施設があったという細かい説明があると思うが、この中にやっぱり生涯スポーツ云々というのがあったので、立派な野球場やサッカー場をPRしなければいけないと思った次第です。

(委員)

表紙は、今年の会議で「くるんと」は「水と緑と花のまち」をコンセプトにして作ったものという説明があり、賛成したい。扉の中に素晴らしい写真が入っているので、裏表紙は長井市のマークと「第六次総合計画」とかのシンプルなものでもいいかもしれない。なお、裏表紙に、第五次総合計画では「長井の心」の詩が入っているが、今年の会議でぜひ残してほしいという意見があったと思う。110 ページにある「長井の心」の注釈がわかりにくいので、裏表紙との間などに、「長井の心」の詩を残していただけたらと思う。中身について、1 点目は、13 ページの人口減少のグラフのところで、総括は「令和 7 年度には 2 万 4 0 0 0 人を切る」という書き方になっており、それでいいと思う。しかし、今後 10 年間の第六次総合計画では、来年の令和 7 年の人口のことでなく、10 年後のことを書くべきだったのでご検討いただきたい。そこに「1.4 人で 1 人を支えることになる」と書いてあるが、第五次総合計画の総括は 1.3 人に 1 人。計算してみたが、そちらが正しいのではないかと思う。人口予測の書き方含め、もし直るのであれば直してほしい。次に、素晴らしい写真が多いのだが、県が出している「男女共同参画の視点に配慮した表現のガイドライン～ 公的広報の手引き」に照らして、男女共同参画の立場から修正を検討いただきたい。14 ページの男女別のグラフについて、手引きによると「男性を青色・女性を赤色でグラフを描く」というのは見直しをすることになっており、男性が水色になっているので女性を紺色の破線等にしてはどうか。もう 1 点は 49 ページ、お母さんお二人がお子さんを抱えている写真を、お父さんがお子さんを抱えているところや、男女で写っている写真にする必要がある。90 ページの地域づくりについて、子育ての写真、コミュニティセンターとかで、若い方、男女など、いろんな人が話し合っている様子の写真にできないか。

(事務局)

特にガイドラインについて、いろいろと貴重なご助言をありがとうございます。本文の内容については議決が通っているという関係もあり、今から修正できるものについては対応させていただくが、どうしてもできない場合はご容赦いただくということでご理解いただきたい。

写真については可能な範囲で検討して、また議事録で皆様に結果をご報告させていただきたい。

(委員)

写真についてですけど、可能であればキャプションを書いていただくと良いと思う。例えば 38 ページは、市民がぱっと見て何かわかるのか疑問。梅花藻の写真も私はわかりますけれども、可能な範囲で、何の写真かわかるキャプションがあれば親切かと。

(委員)

この中に「長井の心」は出ましたが、長井市民歌というのは、どこかに入るか。大切にしたいと思う。中学校の創立記念日には必ず歌っており、成人式でも歌っているので、ちょっと何かを入れていただきたい。余裕があればですが、どこかに挿入をご検討いただき、市民歌を大切にしたい心があってもいいと思った。

(会長)

審議会委員は女性の方が多く、今回集まってそういった視点からも様々ご意見あったが、まず一つはご意見を踏まえて最終的な作成を事務局の方にお任せするというところでよろしいか。様々なご意見いただいてまず表紙・裏表紙、それから本文中のご指摘があった。市民の皆さんにご意見いた

だいて、それによって、市民の見やすい計画になるのではと思います。その点で本当に皆さんから様々ご意見感謝いたします。

(1) 行政評価について(資料4)

資料4に沿って、事務局から説明。

7 その他

特になし

8 閉 会